

プロジェクトファイル管理でサムネイルを表示する

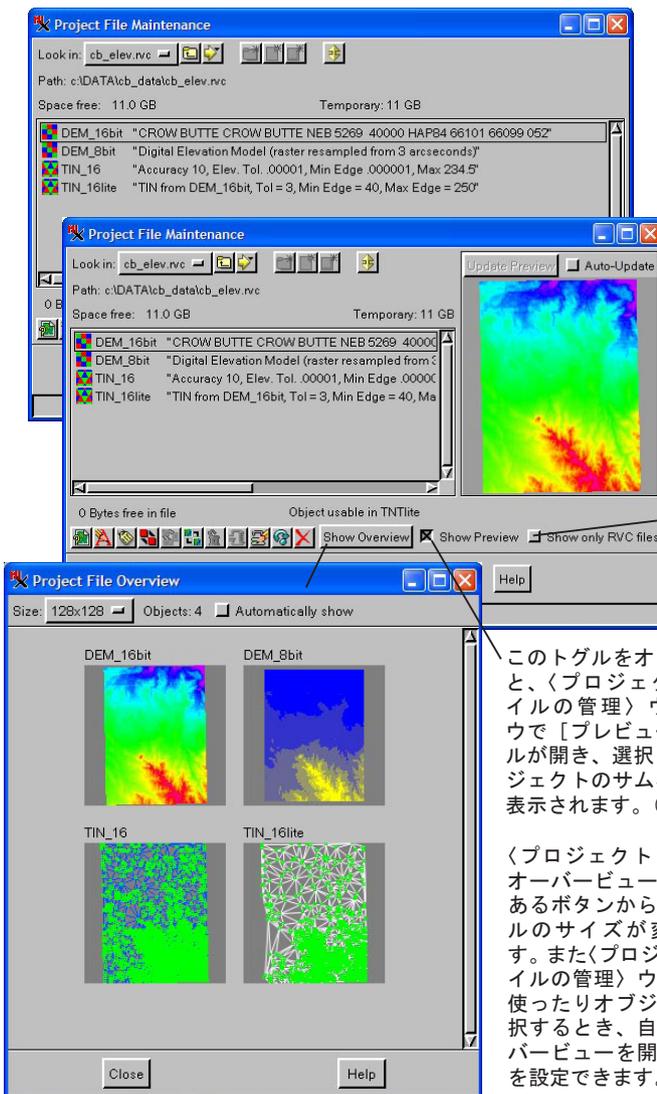
これまでオブジェクト選択ダイアログにあったプロジェクトファイルのプレビューやオーバービューの機能が、プロジェクトファイルの管理メニューにも備わりました。〈プロジェクトファイルの管理〉ウィンドウに表示されるプレビューと、〈プロジェクトファイルオーバービュー〉ウィンドウは、どちらも、サムネイル格納用サブオブジェクトに格納されているサムネイルを使って表示しています。

これらのサムネイルは、サムネイルが一番最後に作られた時の表示パラメータを使っています。従って、オブジェクトを他のスタイルを使って表示した場合、サムネイルは古いものになってしまいます。サムネイルの自動更新トグルをオンにするか、[プレビューの更新] ボタンをクリックしてください。このボタンがアクティブになっていたら、サムネイルが表示パラメータサブオブジェクトより古くなっていることを示しています。サムネイル

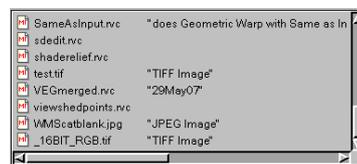
は非常に小さく、ドライブ容量はほんの少ししか取らないのですが、複雑な幾何図形オブジェクトに対しては、生成に時間がかかり、表示が遅いかもかもしれません。もし、データを CD か DVD に入れる場合、ディスクに焼く前にサムネイルを作成しておくことをおすすめします。CD や DVD からオブジェクトのサムネイルを表示させても、レスポンスが早くなります。

ラスタ、ベクタ、シェイプ、CAD、TIN、凡例オブジェクトは、〈プロジェクトファイルオーバービュー〉ウィンドウに示されます。データベース、スタイル、テキスト、スクリプト、グループ、レイアウト、テンプレートオブジェクトは現れません。サムネイルのサイズは、5種類(32 × 32、64 × 64、96 × 96、128 × 128、196 × 196) から選択できます。サムネイルのサイズの設定や変更は、〈オーバービュー〉ウィンドウの中で出来ます。プロジェクトファイルの中のオブジェクト数によって、サイズを変えたいと思うかもしれません。

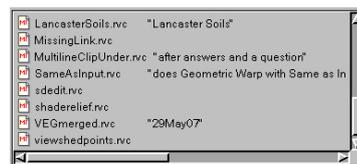
ファイルの拡張子である RVC は、TNT 製品固有のプロジェクトファイル形式を表わします。しかし、オブジェクト選択ウィンドウやプロジェクトファイルの管理においては、JP2 や SHP などのような TNT 製品で直接使用できる、全てのファイルタイプがリストに表示されます。探しているオブジェクトがプロジェクトファイルの中にあることが分かっている場合、RVC ファイルだけをリスト表示して、素早くスクロールすることが可能です。



このトグルでは、使用可能な全てのファイルタイプを表示するか、RVC ファイルのみを表示するかの切り替えができます。



使用可能な全てのファイル



RVC ファイルのみ

このトグルをオンにすると、〈プロジェクトファイルの管理〉ウィンドウで [プレビュー] パネルが開き、選択したオブジェクトのサムネイルが表示されます。(上図)

〈プロジェクトファイルのオーバービュー〉の先頭にあるボタンから、サムネイルのサイズが変更できます。また〈プロジェクトファイルの管理〉ウィンドウを使ったりオブジェクトを選択するとき、自動的にオーバービューを開くかどうかを設定できます。